

目次

第一章 生い立ち／吉田松陰との親交と葛藤

儒家・小田村家を継承

2

松陰との出会い

4

▽てほれほほ▽

境遇や性格が正反対だった二人／50

第二章 波乱の幕末―二度死を覚悟

俗論党により野山獄に投獄

52

坂本龍馬との邂逅と薩長連合

63

四境戦争直前―死を覚悟した幕府との応接

71

△てほれほほ▽

「龍馬がゆく」でレビュー／82

第三章 栄光の維新前夜

東上軍総督・毛利内匠の参謀となる

84

新政府参与任命と罷免

100

▽てほれほほ▽

雅号「畊堂」に込められた願い／106

## 第四章 「至誠」の名県令の誕生と治績

- 熊谷県権令就任と評判 ————— 108
- 就学率を上げた小学校教育 ————— 113
- ▽こぼれほなし 内閣総理大臣 鈴木貫太郎兄弟が学んだ教育県 / 134
- 婦女子は教育の母―女兒教育 ————— 135
- 小学校修身教科書「修身説約」の編纂 ————— 138
- 群馬県中学校の解散と再開 ————— 142
- 日本三古碑の一つ多胡碑の保存 ————— 154
- 豊城入彦命の陵墓探索 ————— 161
- 西南の役と楳取の覚悟 ————— 170
- 利水―待堰と矢場堰の統合 ————— 182
- 日本で最初の公娼廃止 ————— 191
- 東京・高崎・前橋間の鉄道建設 ————— 204
- 富岡製糸場が世界遺産、国宝に！ ————— 219
- 楳取の二つの別荘と持論 ————— 225
- 楳取の置き土産 臨江閣と畊堂庵 ————— 235

## 第五章 松陰の妹―二人の妻

- ▽こぼれほなし 群馬県庁、元々は高崎だった / 244
- 糟糠の妻・寿の介護 ————— 246
- 美和子との再婚 ————— 255
- ▽こぼれほなし 部下を信頼させた献身的介護 / 266

## 第六章 文学修行と交友

- 明倫館に入学 ————— 268
- 安積良斎塾に入門 ————— 268
- 保岡嶺南に詩作を学ぶ ————— 274
- 野村望東尼との歌の交わり ————— 278
- 堀口藍園との親交 ————— 287

## 第七章 楳取素彦の顕彰

- ▽こぼれほなし 楳取が導いた出会い / 296
- あとがきにかえて / 307
- 引用・参考文献 / 317